

市議会定例会初日(2月22日)、大久保博市長は、平成22年度市政運営に臨むに当たり、市政運営の基本方針、3つの重点施策と5つの基本目標に沿った主要施策で構成した施政方針を明らかにしました。その概要を紹介します。

★全文は市政情報センターや市のホームページでご覧になれます。

市政運営の基本方針

市民生活を守る施策をはじめ、首都圏有数の住宅都市として、市民の暮らしに直結した施策に全力を挙げて取り組みます。

「市民発の行政」を実践するために、市の政策に市民の生の声を反映させ、市民・民間有識者などで組織する市政戦略会議の場で議論・検討するなど、戦略的な市政運営に取り組みます。また、行政評価システムの再構築をはじめ、事業仕分けによる既存事業の見直しなどの行財政改革を進めます。

施政方針

平成22年度

新年度の主要な施策

総合計画の5つの基本目標に沿った、新年度の取り組みも紹介します。

真の豊かさを感じるまち

市民の自主的な健康づくりを支援するため乳幼児から

子育て支援・産業振興・まちづくりを重点施策に



施政方針を述べる大久保博市長

新年度の主な重点施策の概要を紹介します。

1) 子育て支援

地域全体で子育てができるまちの推進

- 保育園整備とファミリー・まま制度の拡充
● 認可外保育施設を利用している保護者の方への補助
● 幼稚園を活用した預かり保育
● 学校給食費の無料化について、国の子ども手当の動向や保護者を含めた市民意向を確認したうえで、検討

2) 産業振興

地域に活力を与え、豊かで魅力ある都市としてあり続けるための産業振興

- 融資返済額を軽減するための借り換え制度を創設するとともに新規融資の利率引き下げ
● 企業経営経験者などを経済対策の担当理事として招聘、効果的な経済活性化策を検討
● 市川の特産品を活用し地域ブランド力を高める
● ハローワーク市川、市川商工会議所と共催で、合同就職面接会を年2回実施

3) まちづくり

再開発などのまちづくりの手法を総合的に活用し、より住みやすいまちづくりを推進

- 京成本線立体化=京成八幡駅や変則5差路周辺地区について整備手法などを検討
● 都市計画道路3・4・18号の整備=京成線下部を横断する工事に着手。任意交渉による未買収地の取得に努め、土地収用法の手続きも適切に推進
● 狭隘道路対策=部分的にまごころゾーンとして退避スペースを設けるなどの方法を検討し、地域にとって安全な道路環境を確保するための制度を整備

新年度の予算総額 1,992億円

平成22年度当初予算は、一般会計、特別会計、公営企業会計の合計が1,991億6,900万円となり、前年度当初対比で4.7%の増。うち一般会計では1,268億円、前年度当初対比で7.8%の増となっています。(財政課)

市税35億円の落ち込み

財政調整基金取り崩しなどで均衡保つ

平成22年度の一般会計予算は、厳しい経済状況を反映して、本市歳入の根幹である市税が35億円も落ち込む見込みです。万歳出では、生活保護扶助対象者の増加や子ども手当の創設などにより、削減することが難しい義務的経費が78億円増えることになり、一般会計の予算規模が前年度を92億円上回る1,268億円となりました。子ども手当関連の国庫支出金他、臨時財政対策債を発行したり、財政調整基金を取り崩したりするなどして、収支の均衡を図りました。

安全で快適な魅力あるまち

平常時には地域住民の憩いやレクリエーションの場、災害時には一時避難場所のほか、初期救済や緊急輸送等の中継拠点機能を担う広尾防災公園が4月に開園、隣接する旧江戸川には、県事業による緊急船着場の整備を促進

人との自然が共生するまち

本市の緑の現状を把握するため、デジタル航空写真データ画像解析を行い、緑に関する基礎データである緑量などを調査

市民と行政がともに築くまち

市長が直接地域に出向いて市民の声を聴く機会を創設

生活環境を実現

クリーンセンターの安定的な操業を確保するため、計画的な設備の大規模修繕、更新工事により平成35年までの延命化

子育て支援

低価格入札による下請け業者や労働者へのしわ寄せを回避するため、委託業務に最低制限価格制度を導入

まちづくり

本八幡駅北口のA地区市街地再開発事業は、新年度から本格的に着手、活気ある街並みの創出に向けて組合の着実な事業推進を支援

子育て支援

真の豊かさを感じるまちを支援するため乳幼児から

2月市議会定例会 3月2日(火)から代表質疑 傍聴希望者は、日程などを確認し、市役所6階の傍聴受け付けへ。代表質疑の様子は、当日の午後7時ごろからJCN市川(CATV)で放映されます。また、インターネットでも本会議の生中継(午前10時から)と録画放送がご覧になれます。(議会事務局)